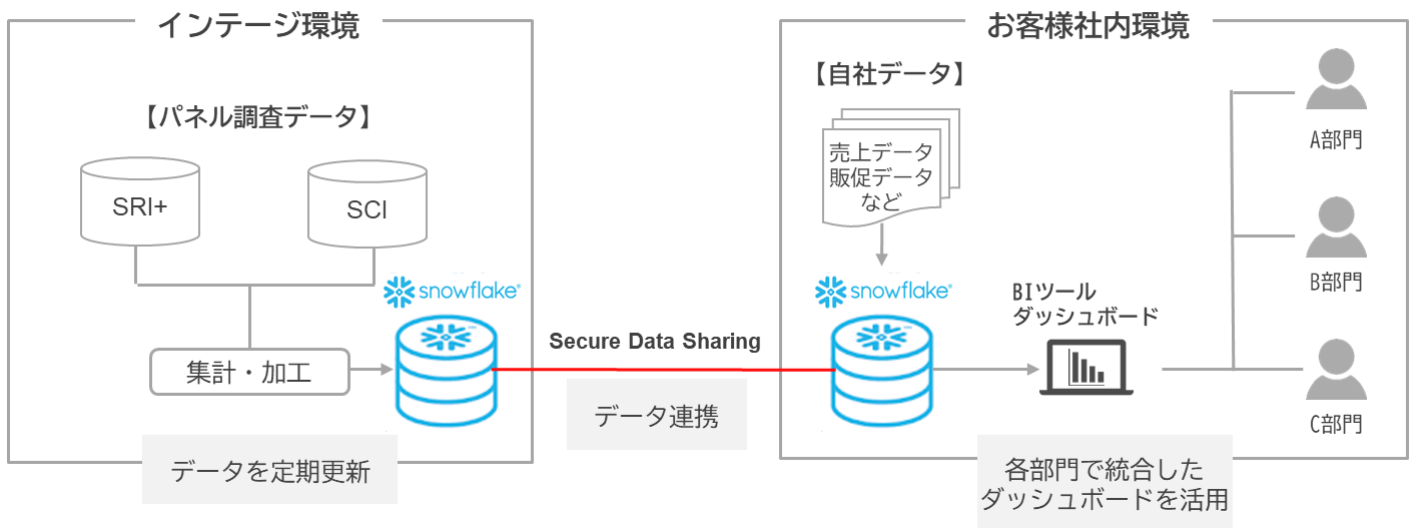


インテージ、パネル調査データの Snowflake 連携サービスを開始 ～業界標準の市場データ・生活者データをより活用しやすくし、DX 推進を支援～

株式会社インテージ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:檜垣 歩、以下:インテージ)は、全国小売店パネル調査「SRI+[®]」、及び全国消費者パネル調査「SCI[®]」の集計・加工データを Snowflake(所在地:東京都中央区、社長執行役員:東條 英俊)を通じてデータ提供先企業に連携するサービスを開始します。本サービスは、Snowflake のデータ共有機能である Secure Data Sharing を用いて、提供先企業の Snowflake 環境にデータを連携します。連携されるデータは、集計済みのデータとして連携されるため、そのまま BI ツール等での可視化を行い、すぐにデータを活用することができます。

◎提供サービスの概要

必要なデータ設計に基づき集計・加工されたパネル調査データ(SRI+、SCI)が、Snowflake Secure Data Sharing を通じて、自社の Snowflake 環境に連携されます。データは Snowflake 上のテーブル(集計済みの整形されたデータ)として、週次や月次の頻度で自動的に更新されるので、BI ツール等に連携しておくことで各ダッシュボードが更新され、すぐに各部門で利用することができます。



◎本サービスを利用するメリット

近年、DX 推進を目的としてデータ活用の統合基盤を構築する企業が増えています。その際、自社データだけではなく、社外のデータも統合して活用するニーズが高まっています。インテージの「SRI+」、「SCI」は、自社データだけではわからない市場全体の動向把握、生活者理解のための業界標準データとして活用されてきました。これまで、インテージのパネル調査データを自社の統合基盤に入れるためには、個別に出力したデータを加工し、統合基盤への取り込み作業を行う必要がありました。本サービスを利用することで、Snowflake 上の集計済みデータテーブルとして、パネルデータをすぐに活用できるようになります。その結果、煩雑な運用作業を削減すると共にデータ反映までのタイムラグを減らし、データを活かした迅速な意思決定を実現できるようになります。

◎提供仕様

・本サービス利用にあたって必要な条件

- ・インテージのパネル調査データベース利用契約があること、もしくは別途新たにご契約いただけること
- ・Snowflake を既に導入済み、もしくは導入予定であること

・提供データ

SRI+、SCI のパネル調査データベース利用契約の範囲内で、集計・加工データを提供

・データ粒度

月次、週次、日次、いずれかの単位での集計済みデータ

・データ更新頻度

月 1 回、または週 1 回

◎今後の展望

インテージでは、Snowflake の基盤において、商品情報データベース及び店舗情報データベース(i-Store DB α[®])の提供や POS データの統合分析基盤である POS-is (<https://www.intage.co.jp/service/platform/pos-is/>) の提供を行ってまいりました。本サービスを組み合わせることにより、データの統合活用を容易にし、実効性のある DX 推進を支援します。今後もインテージでは、誰もがデータを活用しやすい環境を提供し、お客様のビジネスをデータで支援することによって、その先の生活者の幸せの実現に向けて貢献してまいります。

【SRI+[®](全国小売店パネル調査)】 <https://www.intage.co.jp/service/platform/sriplus/>

国内小売店パネル No.1^{※1} のサンプル設計数とチェーンカバレッジを誇る、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、ホームセンター・ディスカウントストア、ドラッグストア、専門店など全国約 6,000 店舗より継続的に、日々の販売情報を収集している小売店販売データです。

※SRI+では、統計的な処理を行っており、調査モニター店舗を特定できる情報は一切公開しておりません

※1 2024 年 4 月現在

【SCI[®](全国消費者パネル調査)】 <https://www.intage.co.jp/service/platform/sci/>

全国 15 歳～79 歳の男女 53,600 人の消費者から継続的に収集している日々の買い物データです。食品、飲料、日用雑貨品、化粧品、医薬品、タバコなど、バーコードが付与された商品について、「誰が・いつ・どこで・何を・いくつ・いくらで、購入したのか」という消費者の購買状況を知ることができます。

※SCIでは、統計的な処理を行っており、調査モニター個人を特定できる情報は一切公開しておりません

【Secure Data Sharing】 <https://docs.snowflake.com/ja/user-guide/data-sharing-intro>

Snowflake の Secure Data Sharing は、データをリアルタイムで安全に共有する機能です。データをコピーまたは移動することなく、組織内外のユーザーと即座にデータを共有できます。この仕組みは高いセキュリティを保ちつつ、データアクセスのコストも軽減します。結果として、ユーザーは常に最新のデータに簡単にアクセスできます。

【株式会社インテージ】 <https://www.intage.co.jp/>

株式会社インテージは 1960 年に創業。世界 9 か国に拠点を持ちマーケティングリサーチ/インサイト事業でアジア No.1*のインテージグループを牽引し、国内外の企業・団体のマーケティング活動をトータルサポートしています。

「生活者理解の深化」と「データ活用の高度化」により顧客ビジネスの未来創造を支え、「Create Consumer-centric Values ~お客様企業のマーケティングに寄り添い、共に生活者の幸せを実現する」という事業ビジョンの実現を目指しています。

*「ESOMAR's Global Top-50 Insights Companies 2023」に基づく(グループ連結売上高ベース)

【Snowflake】 <https://www.snowflake.com/ja/>

Snowflake は、Snowflake データクラウドを通じてあらゆる組織がデータをモバイルできるよう支援します。Snowflake のお客様は、データクラウドを活用して、サイロ化したデータの統合、データの発見と安全な共有、データアプリケーションの推進、多様な人工知能(AI)／機械学習(ML)ワークロードや分析ワークロードの実行を実現しています。データやユーザーがどこに存在するかに関係なく、Snowflake は複数のクラウドと地域にまたがって単一のデータエクスペリエンスを提供します。

【本件に関するお問い合わせ】

■株式会社インテージ 事業開発本部 DX 部

二瓶(にへい)／山下(やました)

サイト「お問い合わせフォーム」 <https://www.intage.co.jp/contact/>

【報道機関からのお問い合わせ先】

■株式会社インテージ 広報担当:水口(みずぐち)／下河原(しもがわら)

TEL:03-5294-6000

サイト「お問い合わせフォーム」 <https://www.intage.co.jp/contact/>